

# ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

米ドルコース  
日本円コース  
通貨αコース

## 運用報告書 (全体版)

第47期 (決算日 2018年11月20日)  
第48期 (決算日 2018年12月20日)  
第49期 (決算日 2019年1月21日)  
第50期 (決算日 2019年2月20日)  
第51期 (決算日 2019年3月20日)  
第52期 (決算日 2019年4月22日)

(作成対象期間 2018年10月23日～2019年4月22日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	約10年間 (2014年10月21日～2024年10月18日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	米ドルコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	日本円コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) 等へ投資し、信託財産の成長をめざしております (通貨αコースでは、通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保もめざしております)。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

米ドルコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税込み 分配金 円	期中 騰落率 %	(参考指数)	期中 騰落率 %			
23期末(2016年11月21日)	6,670	30	5.7	7,325	4.5	0.0	98.9	8,481
24期末(2016年12月20日)	7,081	30	6.6	7,827	6.8	0.0	99.0	8,662
25期末(2017年1月20日)	7,250	30	2.8	8,028	2.6	0.0	98.8	8,973
26期末(2017年2月20日)	7,393	30	2.4	8,369	4.2	0.0	98.8	9,060
27期末(2017年3月21日)	7,050	30	△ 4.2	7,931	△ 5.2	0.0	99.1	8,412
28期末(2017年4月20日)	6,809	30	△ 3.0	7,711	△ 2.8	0.1	98.8	7,989
29期末(2017年5月22日)	6,864	30	1.2	7,796	1.1	0.0	98.9	7,868
30期末(2017年6月20日)	6,268	30	△ 8.2	7,224	△ 7.3	0.0	98.9	6,818
31期末(2017年7月20日)	6,630	30	6.3	7,672	6.2	0.0	99.2	6,945
32期末(2017年8月21日)	5,869	30	△ 11.0	6,785	△ 11.6	—	98.8	5,989
33期末(2017年9月20日)	6,219	30	6.5	7,239	6.7	—	98.8	6,121
34期末(2017年10月20日)	6,135	30	△ 0.9	7,141	△ 1.4	—	98.6	5,817
35期末(2017年11月20日)	5,904	30	△ 3.3	6,850	△ 4.1	—	98.6	5,470
36期末(2017年12月20日)	6,163	30	4.9	7,215	5.3	—	99.2	5,392
37期末(2018年1月22日)	6,415	30	4.6	7,697	6.7	—	99.5	5,445
38期末(2018年2月20日)	5,769	30	△ 9.6	6,902	△ 10.3	—	99.5	4,693
39期末(2018年3月20日)	5,269	30	△ 8.1	6,199	△ 10.2	—	99.5	4,143
40期末(2018年4月20日)	5,560	30	6.1	6,616	6.7	—	99.5	4,222
41期末(2018年5月21日)	6,050	30	9.4	7,256	9.7	—	99.5	4,543
42期末(2018年6月20日)	5,951	30	△ 1.1	7,106	△ 2.1	—	99.5	4,279
43期末(2018年7月20日)	6,334	30	6.9	7,533	6.0	—	99.5	4,163
44期末(2018年8月20日)	6,463	30	2.5	7,905	4.9	—	99.4	4,167
45期末(2018年9月20日)	6,252	30	△ 2.8	7,773	△ 1.7	—	99.4	3,976
46期末(2018年10月22日)	6,096	30	△ 2.0	7,599	△ 2.2	—	99.1	3,733
47期末(2018年11月20日)	5,616	30	△ 7.4	7,123	△ 6.3	—	99.5	3,366
48期末(2018年12月20日)	5,237	30	△ 6.2	6,624	△ 7.0	—	99.3	3,097
49期末(2019年1月21日)	5,504	30	5.7	6,969	5.2	—	98.9	3,163
50期末(2019年2月20日)	5,749	30	5.0	7,357	5.6	—	97.5	3,246
51期末(2019年3月20日)	5,763	30	0.8	7,408	0.7	—	99.3	3,153
52期末(2019年4月22日)	5,678	30	△ 1.0	7,313	△ 1.3	—	99.5	3,062

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(円換算)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

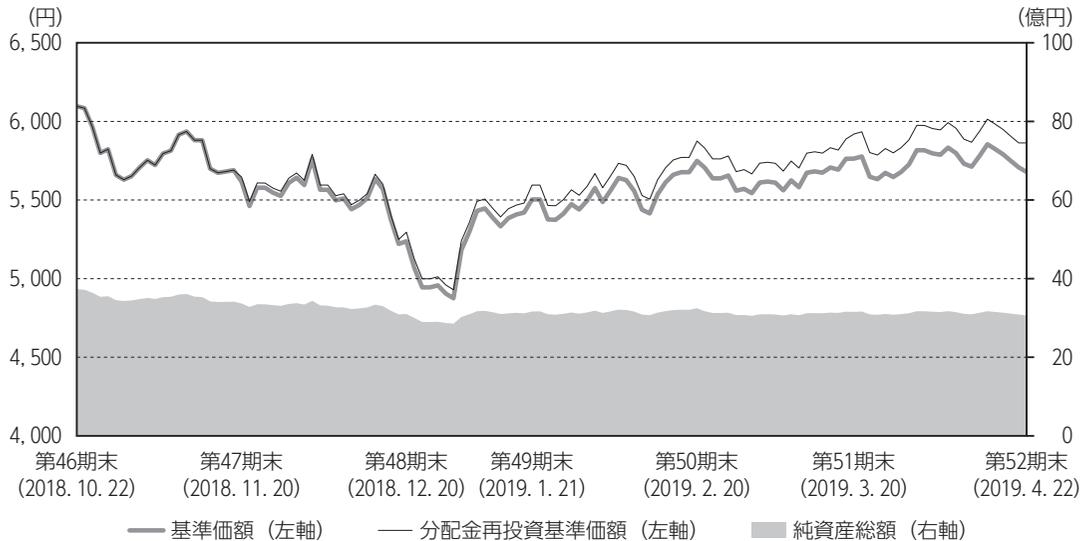
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第47期首：6,096円

第52期末：5,678円（既払分配金180円）

騰落率：△3.8%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が下落したことや円高米ドル安になったことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰 落 率		
第47期	(期首)2018年10月22日	6,096	—	7,599	—	—	99.1
	10月末	5,652	△ 7.3	7,076	△ 6.9	—	99.5
	(期末)2018年11月20日	5,646	△ 7.4	7,123	△ 6.3	—	99.5
第48期	(期首)2018年11月20日	5,616	—	7,123	—	—	99.5
	11月末	5,642	0.5	7,136	0.2	—	99.3
	(期末)2018年12月20日	5,267	△ 6.2	6,624	△ 7.0	—	99.3
第49期	(期首)2018年12月20日	5,237	—	6,624	—	—	99.3
	12月末	4,905	△ 6.3	6,208	△ 6.3	—	99.2
	(期末)2019年1月21日	5,534	5.7	6,969	5.2	—	98.9
第50期	(期首)2019年1月21日	5,504	—	6,969	—	—	98.9
	1月末	5,576	1.3	7,017	0.7	—	98.9
	(期末)2019年2月20日	5,779	5.0	7,357	5.6	—	97.5
第51期	(期首)2019年2月20日	5,749	—	7,357	—	—	97.5
	2月末	5,571	△ 3.1	7,144	△ 2.9	—	99.1
	(期末)2019年3月20日	5,793	0.8	7,408	0.7	—	99.3
第52期	(期首)2019年3月20日	5,763	—	7,408	—	—	99.3
	3月末	5,678	△ 1.5	7,297	△ 1.5	—	99.1
	(期末)2019年4月22日	5,708	△ 1.0	7,313	△ 1.3	—	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2018. 10. 23 ~ 2019. 4. 22)

**MLP市況**

MLP市況は下落しました。

MLP市場は、当作成期首から2018年末にかけて、世界景気の減速懸念や原油価格の下落などを背景に市場心理が悪化し株式市場全体が下落する中で、下落しました。当作成期末にかけては、米中通商協議の進展期待やOPEC（石油輸出国機構）の減産効果に対する期待から株式市場や原油価格は上昇し、MLP市場も上昇しました。

**為替相場**

米ドル円為替相場は、小幅に円高米ドル安となりました。

米ドル円相場は、当作成期首から2019年1月上旬にかけて、米国を中心とした世界経済に対する懸念の高まりを受けた株式市場の下落などのリスク回避的な動きから、円高となりました。当作成期末にかけては、米中通商協議の進展期待や世界経済の悪化懸念の後退によって、市場のリスク回避姿勢が弱まり、円安となりました。

**前作成期末における「今後の運用方針」****当ファンド**

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

**アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）**

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資

や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2018. 10. 23 ~ 2019. 4. 22)

#### ■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）を高位に組み入れました。

#### ■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しました。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行いました。

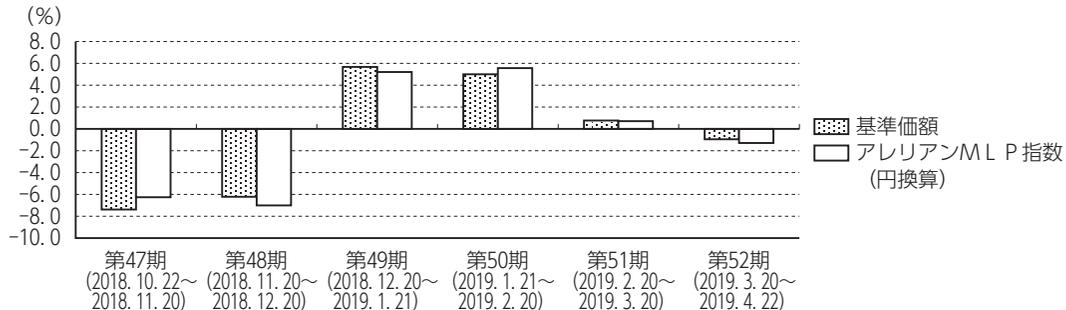
#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「パイプライン、貯蔵、処理」、「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低く、「集積、処理」の組入比率が高いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2018年10月23日 ～2018年11月20日	2018年11月21日 ～2018年12月20日	2018年12月21日 ～2019年1月21日	2019年1月22日 ～2019年2月20日	2019年2月21日 ～2019年3月20日	2019年3月21日 ～2019年4月22日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
対基準価額比率 (%)	0.53	0.57	0.54	0.52	0.52	0.53
当期の収益 (円)	25	25	30	30	27	24
当期の収益以外 (円)	4	4	—	—	2	5
翌期繰越分配対象額 (円)	755	751	752	753	751	745

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 25.65円	✓ 25.77円	✓ 30.99円	✓ 30.80円	✓ 27.91円	✓ 24.76円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	203.87	205.28	206.45	207.46	210.24	211.19
(d) 分配準備積立金	✓ 556.04	✓ 550.28	544.90	544.88	✓ 543.00	✓ 539.97
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	785.57	781.35	782.35	783.15	781.16	775.93
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	755.57	751.35	752.35	753.15	751.16	745.93

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第47期～第52期 (2018. 10. 23～2019. 4. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	35円	0.630%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,574円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.403)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	35	0.634	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

# ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

## ■売買および取引の状況

### 投資信託受益証券

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

決算期	第 47 期 ~ 第 52 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	2,170,00023	110,728	10,079,96781	514,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 投資信託受益証券

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

銘 柄	第 47 期 ~			第 52 期			
	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	38.87118	2,000	51	AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	10,079,96781	514,000	50

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

### (1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

区 分	第 47 期			第 52 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	350	350	100.0	—	—	—
コール・ローン	8,513,525	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	120,999	—	—	120,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

### (3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 52 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	58,457.16698	3,046,670	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年4月22日現在

項 目	第 52 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,046,670	98.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	290	0.0
コール・ローン等、その他	44,761	1.5
投資信託財産総額	3,091,722	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第46期末	第 52 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	285	285	290

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年11月20日)、(2018年12月20日)、(2019年1月21日)、(2019年2月20日)、(2019年3月20日)、(2019年4月22日)現在

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,395,605,594円</b>	<b>3,127,328,404円</b>	<b>3,226,565,420円</b>	<b>3,269,429,177円</b>	<b>3,185,184,902円</b>	<b>3,091,722,259円</b>
コール・ローン等	40,109,825	38,352,853	36,121,597	42,701,170	52,075,215	44,761,529
投資信託受益証券 (評価額)	3,349,205,581	3,076,685,393	3,128,153,692	3,166,437,877	3,132,819,585	3,046,670,628
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	290,188	290,159	290,131	290,131	290,102	290,102
未収入金	6,000,000	11,999,999	62,000,000	59,999,999	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>29,090,163</b>	<b>29,752,642</b>	<b>63,363,082</b>	<b>22,704,562</b>	<b>31,570,777</b>	<b>29,590,190</b>
未払金	3,000,000	4,000,000	21,000,000	—	—	—
未払収益分配金	17,983,015	17,743,072	17,240,999	16,943,280	16,417,247	16,179,477
未払解約金	4,533,899	4,512,077	21,711,569	2,397,570	12,019,403	9,702,249
未払信託報酬	3,550,433	3,452,694	3,344,267	3,276,800	3,027,918	3,579,335
その他未払費用	22,816	44,799	66,247	86,912	106,209	129,129
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>3,366,515,431</b>	<b>3,097,575,762</b>	<b>3,163,202,338</b>	<b>3,246,724,615</b>	<b>3,153,614,125</b>	<b>3,062,132,069</b>
元本	5,994,338,650	5,914,357,426	5,746,999,975	5,647,760,103	5,472,415,912	5,393,159,076
次期繰越損益金	△ 2,627,823,219	△ 2,816,781,664	△ 2,583,797,637	△ 2,401,035,488	△ 2,318,801,787	△ 2,331,027,007
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>5,994,338,650口</b>	<b>5,914,357,426口</b>	<b>5,746,999,975口</b>	<b>5,647,760,103口</b>	<b>5,472,415,912口</b>	<b>5,393,159,076口</b>
1万口当り基準価額 (C / D)	5,616円	5,237円	5,504円	5,749円	5,763円	5,678円

\*第46期末における元本額は6,123,636,936円、当作成期間(第47期～第52期)中における追加設定元本額は87,756,573円、同解約元本額は818,234,433円です。

\*第52期末の計算口数当りの純資産額は5,678円です。

\*第52期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,331,027,007円です。

# ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

## ■損益の状況

項目	第47期 自 2018年10月23日 至 2018年11月20日	第48期 自 2018年11月21日 至 2018年12月20日	第49期 自 2018年12月21日 至 2019年 1月21日	第50期 自 2019年 1月22日 至 2019年 2月20日	第51期 自 2019年 2月21日 至 2019年 3月21日	第52期 自 2019年 3月20日 至 2019年 4月22日
(A) 配当等収益	18,951,651円	18,721,488円	18,167,236円	17,765,996円	17,186,347円	16,959,802円
受取配当金	18,953,010	18,722,850	18,168,664	17,767,725	17,187,665	16,961,950
受取利息	1	4	2	5	3	5
支払利息	△ 1,360	△ 1,366	△ 1,430	△ 1,734	△ 1,321	△ 2,153
(B) 有価証券売買損益	△ 285,066,877	△ 221,469,828	155,741,094	140,617,753	10,257,256	△ 42,986,521
売買益	2,681,956	928,362	158,023,924	140,855,178	11,647,995	634,632
売買損	△ 287,748,833	△ 222,398,190	△ 2,282,830	△ 237,425	△ 1,390,739	△ 43,621,153
(C) 信託報酬等	△ 3,573,261	△ 3,474,881	△ 3,366,002	△ 3,297,775	△ 3,047,228	△ 3,602,255
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 269,688,487	△ 206,223,221	170,542,328	155,085,974	24,396,375	△ 29,628,974
(E) 前期繰越損益金	△ 1,848,085,744	△ 2,101,877,221	△ 2,255,193,635	△ 2,061,770,419	△ 1,854,717,574	△ 1,816,801,030
(F) 追加信託差損益金	△ 492,065,973	△ 490,938,150	△ 481,905,331	△ 477,407,763	△ 472,063,341	△ 468,417,526
(配当等相当額)	( 122,210,053)	( 121,413,236)	( 118,650,696)	( 117,173,127)	( 115,055,283)	( 113,900,880)
(売買損益相当額)	(△ 614,276,026)	(△ 612,351,386)	(△ 600,556,027)	(△ 594,580,890)	(△ 587,118,624)	(△ 582,318,406)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,609,840,204	△ 2,799,038,592	△ 2,566,556,638	△ 2,384,092,208	△ 2,302,384,540	△ 2,314,847,530
(H) 収益分配金	△ 17,983,015	△ 17,743,072	△ 17,240,999	△ 16,943,280	△ 16,417,247	△ 16,179,477
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,627,823,219	△ 2,816,781,664	△ 2,583,797,637	△ 2,401,035,488	△ 2,318,801,787	△ 2,331,027,007
追加信託差損益金	△ 492,065,973	△ 490,938,150	△ 481,905,331	△ 477,407,763	△ 472,063,341	△ 468,417,526
(配当等相当額)	( 122,210,053)	( 121,413,236)	( 118,650,696)	( 117,173,127)	( 115,055,283)	( 113,900,880)
(売買損益相当額)	(△ 614,276,026)	(△ 612,351,386)	(△ 600,556,027)	(△ 594,580,890)	(△ 587,118,624)	(△ 582,318,406)
分配準備積立金	330,707,241	322,964,673	313,728,768	308,192,860	296,013,381	288,392,773
繰越損益金	△ 2,466,464,487	△ 2,648,808,187	△ 2,415,621,074	△ 2,231,820,585	△ 2,142,751,827	△ 2,151,002,254

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,378,378円	15,246,592円	17,815,476円	17,395,972円	15,278,167円	13,357,532円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	122,210,053	121,413,236	118,650,696	117,173,127	115,055,283	113,900,880
(d) 分配準備積立金	333,311,878	325,461,153	313,154,291	307,740,168	297,152,461	291,214,718
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	470,900,309	462,120,981	449,620,463	442,309,267	427,485,911	418,473,130
(f) 分配金	17,983,015	17,743,072	17,240,999	16,943,280	16,417,247	16,179,477
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	452,917,294	444,377,909	432,379,464	425,365,987	411,068,664	402,293,653
(h) 受益権総口数	5,994,338,650口	5,914,357,426口	5,746,999,975口	5,647,760,103口	5,472,415,912口	5,393,159,076口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

**分配金の課税上の取扱いについて**

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

**〈お知らせ〉**

**■信託期間の延長について**

信託期間を5年間延長し、信託終了日を2019年10月18日から2024年10月18日に変更しました。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
23期末(2016年11月21日)	6,338	30	△ 1.2	7,055	△ 2.4	0.1	98.7	1,715
24期末(2016年12月20日)	6,360	30	0.8	7,137	1.2	0.0	98.0	1,750
25期末(2017年1月20日)	6,583	30	4.0	7,450	4.4	0.0	98.9	1,920
26期末(2017年2月20日)	6,851	30	4.5	7,922	6.3	0.0	98.8	2,134
27期末(2017年3月21日)	6,533	30	△ 4.2	7,540	△ 4.8	0.0	98.9	2,400
28期末(2017年4月20日)	6,512	30	0.1	7,556	0.2	0.1	97.8	2,418
29期末(2017年5月22日)	6,401	30	△ 1.2	7,469	△ 1.2	0.0	98.4	2,374
30期末(2017年6月20日)	5,849	30	△ 8.2	6,906	△ 7.5	0.0	98.9	2,126
31期末(2017年7月20日)	6,150	30	5.7	7,326	6.1	0.0	98.3	2,121
32期末(2017年8月21日)	5,582	30	△ 8.7	6,629	△ 9.5	—	98.3	1,874
33期末(2017年9月20日)	5,766	30	3.8	6,929	4.5	—	98.8	1,843
34期末(2017年10月20日)	5,624	30	△ 1.9	6,766	△ 2.4	—	98.5	1,705
35期末(2017年11月20日)	5,413	30	△ 3.2	6,524	△ 3.6	—	98.6	1,527
36期末(2017年12月20日)	5,606	30	4.1	6,824	4.6	—	99.0	1,512
37期末(2018年1月22日)	5,939	30	6.5	7,425	8.8	—	99.2	1,553
38期末(2018年2月20日)	5,557	30	△ 5.9	6,905	△ 7.0	—	99.4	1,407
39期末(2018年3月20日)	5,079	30	△ 8.1	6,241	△ 9.6	—	99.4	1,277
40期末(2018年4月20日)	5,271	30	4.4	6,577	5.4	—	98.9	1,248
41期末(2018年5月21日)	5,551	30	5.9	6,979	6.1	—	99.5	1,282
42期末(2018年6月20日)	5,489	30	△ 0.6	6,897	△ 1.2	—	99.3	1,176
43期末(2018年7月20日)	5,671	30	3.9	7,147	3.6	—	99.1	1,193
44期末(2018年8月20日)	5,897	30	4.5	7,639	6.9	—	99.1	1,107
45期末(2018年9月20日)	5,596	30	△ 4.6	7,390	△ 3.3	—	96.4	981
46期末(2018年10月22日)	5,433	30	△ 2.4	7,218	△ 2.3	—	99.5	901
47期末(2018年11月20日)	4,986	30	△ 7.7	6,755	△ 6.4	—	99.4	794
48期末(2018年12月20日)	4,647	30	△ 6.2	6,286	△ 7.0	—	99.3	737
49期末(2019年1月21日)	4,973	30	7.7	6,790	8.0	—	98.6	786
50期末(2019年2月20日)	5,138	30	3.9	7,098	4.5	—	99.4	805
51期末(2019年3月20日)	5,098	30	△ 0.2	7,090	△ 0.1	—	98.8	794
52期末(2019年4月22日)	4,985	30	△ 1.6	6,977	△ 1.6	—	99.5	770

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(米ドルベース)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

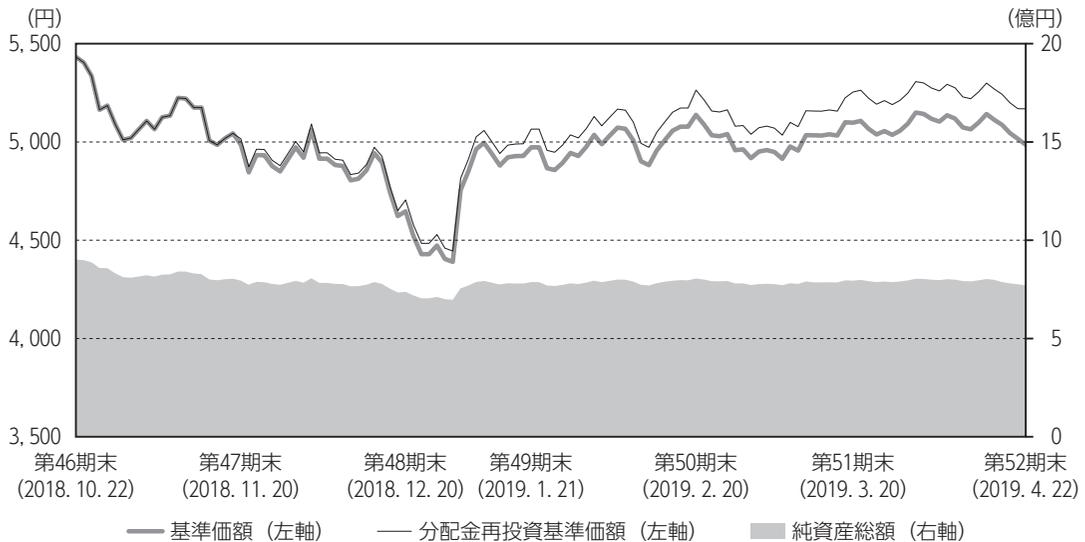
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第47期首：5,433円

第52期末：4,985円（既払分配金180円）

騰落率：△4.9%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が下落したことから、基準価額は下落しました。また、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をめざしたため、為替相場の変動の基準価額への影響は軽微でした。為替ヘッジにかかるコストは基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第47期	(期首)2018年10月22日	5,433	—	7,218	—	—	99.5
	10月末	5,020	△ 7.6	6,676	△ 7.5	—	99.3
	(期末)2018年11月20日	5,016	△ 7.7	6,755	△ 6.4	—	99.4
第48期	(期首)2018年11月20日	4,986	—	6,755	—	—	99.4
	11月末	4,973	△ 0.3	6,719	△ 0.5	—	99.4
	(期末)2018年12月20日	4,677	△ 6.2	6,286	△ 7.0	—	99.3
第49期	(期首)2018年12月20日	4,647	—	6,286	—	—	99.3
	12月末	4,405	△ 5.2	5,976	△ 4.9	—	99.1
	(期末)2019年1月21日	5,003	7.7	6,790	8.0	—	98.6
第50期	(期首)2019年1月21日	4,973	—	6,790	—	—	98.6
	1月末	5,036	1.3	6,881	1.3	—	99.0
	(期末)2019年2月20日	5,168	3.9	7,098	4.5	—	99.4
第51期	(期首)2019年2月20日	5,138	—	7,098	—	—	99.4
	2月末	4,962	△ 3.4	6,885	△ 3.0	—	99.0
	(期末)2019年3月20日	5,128	△ 0.2	7,090	△ 0.1	—	98.8
第52期	(期首)2019年3月20日	5,098	—	7,090	—	—	98.8
	3月末	5,057	△ 0.8	7,024	△ 0.9	—	98.6
	(期末)2019年4月22日	5,015	△ 1.6	6,977	△ 1.6	—	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018. 10. 23 ~ 2019. 4. 22)

### ■MLP市況

MLP市況は下落しました。

MLP市場は、当作成期首から2018年末にかけて、世界景気の減速懸念や原油価格の下落などを背景に市場心理が悪化し株式市場全体が下落する中で、下落しました。当作成期末にかけては、米中通商協議の進展期待やOPEC（石油輸出国機構）の減産効果に対する期待から株式市場や原油価格は上昇し、MLP市場も上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

### ■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2018. 10. 23 ~ 2019. 4. 22)

### ■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）を高位に組み入れました。

### ■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しました。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

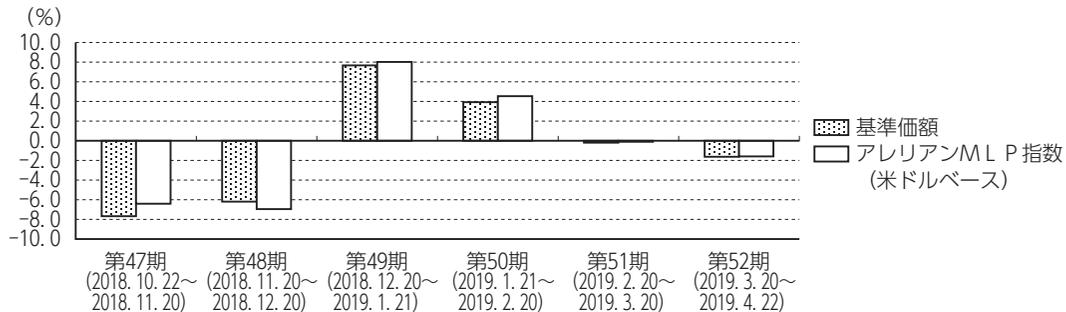
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「パイプライン、貯蔵、処理」、「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低く、「集積、処理」の組入比率が高いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2018年10月23日 ～2018年11月20日	2018年11月21日 ～2018年12月20日	2018年12月21日 ～2019年1月21日	2019年1月22日 ～2019年2月20日	2019年2月21日 ～2019年3月20日	2019年3月21日 ～2019年4月22日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
対基準価額比率 (%)	0.60	0.64	0.60	0.58	0.59	0.60
当期の収益 (円)	26	26	30	30	26	25
当期の収益以外 (円)	3	3	—	—	3	4
翌期繰越分配対象額 (円)	782	779	781	782	779	774

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 26.75円	✓ 26.84円	✓ 31.50円	✓ 30.98円	✓ 26.96円	✓ 25.80円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	360.98	362.18	363.45	364.64	366.04	367.15
(d) 分配準備積立金	✓ 425.09	✓ 420.65	416.23	416.55	✓ 416.14	✓ 411.99
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	812.83	809.69	811.19	812.18	809.15	804.95
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	782.83	779.69	781.19	782.18	779.15	774.95

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第47期～第52期 (2018. 10. 23～2019. 4. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.631%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,967円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.403)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	32	0.634	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

決算期	第 47 期 ~ 第 52 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 720.35853	千円 32,287	千口 2,033.81394	千円 92,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

第 47 期 ~				第 52 期			
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 44.64237	千円 2,000	円 44	AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 2,033.81394	千円 92,000	円 45

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

区 分	第 47 期			第 52 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	8,513,525	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	120,999	—	—	120,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 52 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	17,004.86714	766,426	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年4月22日現在

項 目	第 52 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	766,426	98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	147	0.0
コール・ローン等、その他	10,153	1.3
投資信託財産総額	776,726	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第46期末	第 52 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	144	144	147

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年11月20日)、(2018年12月20日)、(2019年1月21日)、(2019年2月20日)、(2019年3月20日)、(2019年4月22日) 現在

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
<b>(A) 資産</b>	<b>804,145,571円</b>	<b>744,558,605円</b>	<b>796,974,814円</b>	<b>812,035,065円</b>	<b>800,933,281円</b>	<b>776,726,605円</b>
コール・ローン等	10,077,493	9,737,001	9,912,648	11,625,245	15,529,051	10,153,096
投資信託受益証券 (評価額)	789,920,893	732,674,432	775,915,009	800,262,663	785,257,087	766,426,366
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	147,186	147,172	147,157	147,157	147,143	147,143
未収入金	3,999,999	2,000,000	11,000,000	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>9,698,827</b>	<b>7,071,186</b>	<b>9,976,080</b>	<b>6,540,497</b>	<b>6,525,223</b>	<b>6,096,668</b>
未払金	2,000,000	1,000,000	2,000,000	—	—	—
未払収益分配金	4,780,319	4,760,956	4,747,341	4,703,093	4,675,112	4,637,555
未払解約金	2,073,563	485,415	2,390,859	998,910	1,060,606	520,116
未払信託報酬	839,563	814,271	822,069	817,537	763,690	907,379
その他未払費用	5,382	10,544	15,811	20,957	25,815	31,618
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>794,446,744</b>	<b>737,487,419</b>	<b>786,998,734</b>	<b>805,494,568</b>	<b>794,408,058</b>	<b>770,629,937</b>
元本	1,593,439,875	1,586,985,598	1,582,447,145	1,567,697,933	1,558,370,788	1,545,851,806
次期繰越損益金	△ 798,993,131	△ 849,498,179	△ 795,448,411	△ 762,203,365	△ 763,962,730	△ 775,221,869
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,593,439,875□</b>	<b>1,586,985,598□</b>	<b>1,582,447,145□</b>	<b>1,567,697,933□</b>	<b>1,558,370,788□</b>	<b>1,545,851,806□</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	4,986円	4,647円	4,973円	5,138円	5,098円	4,985円

\* 第46期末における元本額は1,659,489,029円、当作成期間(第47期~第52期)中における追加設定元本額は27,517,514円、同解約元本額は141,154,737円です。

\* 第52期末の計算口数当りの純資産額は4,985円です。

\* 第52期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は775,221,869円です。

# ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

## ■損益の状況

項目	第47期 自 2018年10月23日 至 2018年11月20日	第48期 自 2018年11月21日 至 2018年12月20日	第49期 自 2018年12月21日 至 2019年1月21日	第50期 自 2019年1月22日 至 2019年2月20日	第51期 自 2019年2月21日 至 2019年3月20日	第52期 自 2019年3月21日 至 2019年4月22日
(A) 配当等収益	5,108,950円	5,080,266円	5,058,646円	4,988,468円	4,970,120円	4,902,216円
受取配当金	5,109,331	5,080,591	5,058,990	4,988,974	4,970,420	4,902,948
受取利息	3	—	—	—	—	—
支払利息	△ 384	△ 325	△ 344	△ 506	△ 300	△ 732
(B) 有価証券売買損益	△ 70,710,984	△ 53,238,744	△ 52,132,495	△ 26,366,825	△ 5,813,554	△ 16,747,745
売買益	2,152,221	109,592	52,251,913	26,385,557	191,515	27,923
売買損	△ 72,863,205	△ 53,348,336	△ 119,418	△ 18,732	△ 6,005,069	△ 16,775,668
(C) 信託報酬等	△ 844,949	△ 819,480	△ 827,405	△ 822,762	△ 768,552	△ 913,182
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 66,446,983	△ 48,977,958	△ 56,363,736	△ 30,532,531	△ 1,611,986	△ 12,758,711
(E) 前期繰越損益金	△ 438,595,785	△ 506,319,465	△ 556,758,227	△ 499,019,230	△ 468,799,666	△ 470,004,581
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 289,170,044 ( 57,521,052)	△ 289,439,800 ( 57,478,350)	△ 290,306,579 ( 57,515,617)	△ 289,013,573 ( 57,165,197)	△ 288,875,966 ( 57,042,983)	△ 287,821,022 ( 56,756,312)
(売買損益相当額)	(△ 346,691,096)	(△ 346,918,150)	(△ 347,822,196)	(△ 346,178,770)	(△ 345,918,949)	(△ 344,577,334)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 794,212,812	△ 844,737,223	△ 790,701,070	△ 757,500,272	△ 759,287,618	△ 770,584,314
(H) 収益分配金	△ 4,780,319	△ 4,760,956	△ 4,747,341	△ 4,703,093	△ 4,675,112	△ 4,637,555
次期繰越損益金 (G + H)	△ 798,993,131	△ 849,498,179	△ 795,448,411	△ 762,203,365	△ 763,962,730	△ 775,221,869
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 289,170,044 ( 57,521,052)	△ 289,439,800 ( 57,478,350)	△ 290,306,579 ( 57,515,617)	△ 289,013,573 ( 57,165,197)	△ 288,875,966 ( 57,042,983)	△ 287,821,022 ( 56,756,312)
(売買損益相当額)	(△ 346,691,096)	(△ 346,918,150)	(△ 347,822,196)	(△ 346,178,770)	(△ 345,918,949)	(△ 344,577,334)
分配準備積立金	67,219,566	66,257,442	66,105,094	65,458,332	64,377,481	63,040,285
繰越損益金	△ 577,042,653	△ 626,315,821	△ 571,246,926	△ 538,648,124	△ 539,464,245	△ 550,441,132

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,263,997円	4,260,781円	4,985,416円	4,857,561円	4,201,566円	3,989,029円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	57,521,052	57,478,350	57,515,617	57,165,197	57,042,983	56,756,312
(d) 分配準備積立金	67,735,888	66,757,617	65,867,019	65,303,864	64,851,027	63,688,811
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	129,520,937	128,496,748	128,368,052	127,326,622	126,095,576	124,434,152
(f) 分配金	4,780,319	4,760,956	4,747,341	4,703,093	4,675,112	4,637,555
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	124,740,618	123,735,792	123,620,711	122,623,529	121,420,464	119,796,597
(h) 受益権総口数	1,593,439,875口	1,586,985,598口	1,582,447,145口	1,567,697,933口	1,558,370,788口	1,545,851,806口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

#### 《お知らせ》

##### ■信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託終了日を2019年10月18日から2024年10月18日に変更しました。

## 通貨αコース

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
23期末(2016年11月21日)	5,627	70	2.8	0.1	98.5	6,986
24期末(2016年12月20日)	5,794	70	4.2	0.0	98.5	7,168
25期末(2017年1月20日)	5,921	70	3.4	0.0	98.7	7,419
26期末(2017年2月20日)	6,042	70	3.2	0.0	99.1	7,484
27期末(2017年3月21日)	5,742	70	△ 3.8	0.0	98.9	6,984
28期末(2017年4月20日)	5,538	70	△ 2.3	0.1	98.3	6,307
29期末(2017年5月22日)	5,504	70	0.7	0.0	99.0	6,038
30期末(2017年6月20日)	4,982	70	△ 8.2	0.0	99.1	5,333
31期末(2017年7月20日)	5,212	70	6.0	0.0	99.0	5,466
32期末(2017年8月21日)	4,589	70	△ 10.6	—	98.9	4,835
33期末(2017年9月20日)	4,793	70	6.0	—	98.6	4,888
34期末(2017年10月20日)	4,673	70	△ 1.0	—	98.6	4,523
35期末(2017年11月20日)	4,456	70	△ 3.1	—	98.5	4,159
36期末(2017年12月20日)	4,608	70	5.0	—	97.6	4,164
37期末(2018年1月22日)	4,769	70	5.0	—	99.5	4,029
38期末(2018年2月20日)	4,266	70	△ 9.1	—	99.5	3,588
39期末(2018年3月20日)	3,864	70	△ 7.8	—	98.9	3,151
40期末(2018年4月20日)	4,021	70	5.9	—	99.5	3,227
41期末(2018年5月21日)	4,276	70	8.1	—	99.5	3,336
42期末(2018年6月20日)	4,173	70	△ 0.8	—	99.5	3,107
43期末(2018年7月20日)	4,349	70	5.9	—	99.4	3,320
44期末(2018年8月20日)	4,420	70	3.2	—	99.4	3,398
45期末(2018年9月20日)	4,214	70	△ 3.1	—	99.4	3,159
46期末(2018年10月22日)	4,053	70	△ 2.2	—	98.4	3,027
47期末(2018年11月20日)	3,691	70	△ 7.2	—	98.1	2,715
48期末(2018年12月20日)	3,426	45	△ 6.0	—	99.1	2,385
49期末(2019年1月21日)	3,575	45	5.7	—	98.7	2,443
50期末(2019年2月20日)	3,699	45	4.7	—	98.8	2,517
51期末(2019年3月20日)	3,673	45	0.5	—	99.2	2,462
52期末(2019年4月22日)	3,593	45	△ 1.0	—	98.7	2,333

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

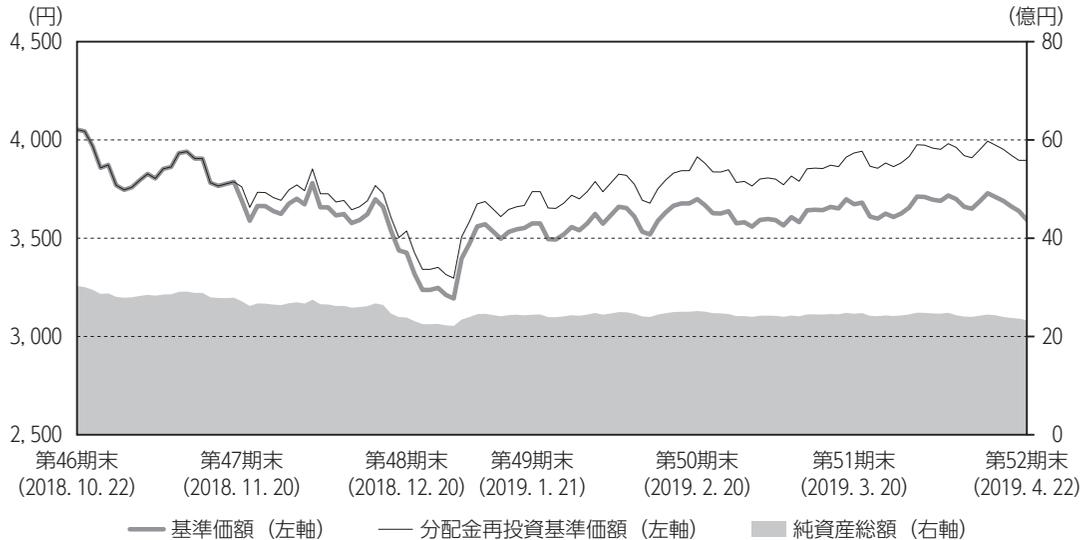
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第47期首：4,053円

第52期末：3,593円（既払分配金295円）

騰落率：△3.9%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

オプションのプレミアム収入（円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）の売却）はプラス要因となったものの、主にMLP（※）市況が下落したことや円高米ドル安になったことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %		
第47期	(期首)2018年10月22日	4,053	—	—	98.4
	10月末	3,759	△ 7.3	—	99.5
	(期末)2018年11月20日	3,761	△ 7.2	—	98.1
第48期	(期首)2018年11月20日	3,691	—	—	98.1
	11月末	3,701	0.3	—	99.4
	(期末)2018年12月20日	3,471	△ 6.0	—	99.1
第49期	(期首)2018年12月20日	3,426	—	—	99.1
	12月末	3,211	△ 6.3	—	99.2
	(期末)2019年1月21日	3,620	5.7	—	98.7
第50期	(期首)2019年1月21日	3,575	—	—	98.7
	1月末	3,624	1.4	—	99.5
	(期末)2019年2月20日	3,744	4.7	—	98.8
第51期	(期首)2019年2月20日	3,699	—	—	98.8
	2月末	3,581	△ 3.2	—	98.9
	(期末)2019年3月20日	3,718	0.5	—	99.2
第52期	(期首)2019年3月20日	3,673	—	—	99.2
	3月末	3,626	△ 1.3	—	98.5
	(期末)2019年4月22日	3,638	△ 1.0	—	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2018. 10. 23 ~ 2019. 4. 22)

**MLP市況**

MLP市況は下落しました。

MLP市場は、当作成期首から2018年末にかけて、世界景気の減速懸念や原油価格の下落などを背景に市場心理が悪化し株式市場全体が下落する中で、下落しました。当作成期末にかけては、米中通商協議の進展期待やOPEC（石油輸出国機構）の減産効果に対する期待から株式市場や原油価格は上昇し、MLP市場も上昇しました。

**為替相場**

米ドル円為替相場は、小幅に円高米ドル安となりました。

米ドル円相場は、当作成期首から2019年1月上旬にかけて、米国を中心とした世界経済に対する懸念の高まりを受けた株式市場の下落などのリスク回避的な動きから、円高となりました。当作成期末にかけては、米中通商協議の進展期待や世界経済の悪化懸念の後退によって、市場のリスク回避姿勢が弱まり、円安となりました。

**通貨オプション相場**

通貨オプションのボラティリティは、当作成期を通して低下しました。

2018年12月から2019年1月にかけては、市場のリスク回避姿勢が強まり米ドル円が急落する中で、ボラティリティが上昇する場面が見られました。しかしその後は、米ドル円が緩やかに上昇を続けたことを受けて為替相場の先行き不透明感が後退し、ボラティリティは低下しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

### ■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2018. 10. 23 ~ 2019. 4. 22)

### ■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（通貨αクラス）を高位に組み入れました。

### ■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しました。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行いました。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2018年10月23日 ～2018年11月20日	2018年11月21日 ～2018年12月20日	2018年12月21日 ～2019年1月21日	2019年1月22日 ～2019年2月20日	2019年2月21日 ～2019年3月20日	2019年3月21日 ～2019年4月22日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>70</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>45</b>
対基準価額比率 (%)	1.86	1.30	1.24	1.20	1.21	1.24
当期の収益 (円)	27	27	30	30	27	26
当期の収益以外 (円)	42	17	14	14	17	18
翌期繰越分配対象額 (円)	931	914	900	885	867	849

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 27.84円	✓ 27.66円	✓ 30.71円	✓ 30.26円	✓ 27.25円	✓ 26.35円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	438.61	441.45	443.45	445.28	447.19	448.89
(d) 分配準備積立金	✓ 535.46	✓ 490.47	✓ 471.14	✓ 455.03	✓ 438.38	✓ 418.94
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,001.92	959.59	945.31	930.57	912.83	894.19
(f) 分配金	70.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	931.92	914.59	900.31	885.57	867.83	849.19

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第47期～第52期 (2018. 10. 23～2019. 4. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	23円	0.630%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,627円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.403)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.023	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.023)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.656	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

決算期	第 47 期 ~ 第 52 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 5,431,88131	千円 182,235	千口 18,234,46161	千円 610,389

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

第 47 期 ~				第 52 期			
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,536,16565	千円 52,000	円 33	AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 18,234,46161	千円 610,389	円 33

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

区 分	第 47 期 ~ 第 52 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	8,513,525	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	120,999	—	—	120,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 52 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	68,137.9852	2,303,472	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年4月22日現在

項 目	第 52 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,303,472	97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	689	0.0
コール・ローン等、その他	63,114	2.7
投資信託財産総額	2,367,277	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第46期末	第 52 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	677	677	689

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年11月20日)、(2018年12月20日)、(2019年1月21日)、(2019年2月20日)、(2019年3月20日)、(2019年4月22日)現在

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,784,562,324円</b>	<b>2,514,195,513円</b>	<b>2,518,647,660円</b>	<b>2,552,275,770円</b>	<b>2,498,555,538円</b>	<b>2,387,257,118円</b>
コール・ローン等	78,382,926	139,641,910	45,137,641	63,421,630	55,278,203	43,134,476
投資信託受益証券 (評価額)	2,664,530,280	2,363,873,553	2,410,882,036	2,488,164,157	2,442,587,420	2,303,472,728
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	690,119	690,051	689,983	689,983	689,915	689,915
未収入金	40,958,999	9,989,999	61,938,000	—	—	39,959,999
<b>(B) 負債</b>	<b>68,580,797</b>	<b>128,465,321</b>	<b>75,508,919</b>	<b>34,370,925</b>	<b>36,298,495</b>	<b>54,228,425</b>
未払金	1,998,000	—	20,979,000	—	—	19,980,000
未払収益分配金	51,510,431	31,340,262	30,751,886	30,635,010	30,167,378	29,219,864
未払解約金	12,171,183	94,332,742	21,131,710	1,115,922	3,668,998	2,141,898
未払信託報酬	2,882,658	2,756,256	2,593,588	2,551,213	2,378,178	2,784,872
その他未払費用	18,525	36,061	52,735	68,780	83,941	101,791
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>2,715,981,527</b>	<b>2,385,730,192</b>	<b>2,443,138,741</b>	<b>2,517,904,845</b>	<b>2,462,257,043</b>	<b>2,333,028,693</b>
元本	7,358,633,005	6,964,502,860	6,833,752,632	6,807,780,207	6,703,861,964	6,493,303,154
次期繰越損益金	△ 4,642,651,478	△ 4,578,772,668	△ 4,390,613,891	△ 4,289,875,362	△ 4,241,604,921	△ 4,160,274,461
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,358,633,005口</b>	<b>6,964,502,860口</b>	<b>6,833,752,632口</b>	<b>6,807,780,207口</b>	<b>6,703,861,964口</b>	<b>6,493,303,154口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	3,691円	3,426円	3,575円	3,699円	3,673円	3,593円

\*第46期末における元本額は7,470,051,090円、当作成期間(第47期~第52期)中における追加設定元本額は214,326,624円、同解約元本額は1,191,074,560円です。

\*第52期末の計算口数当りの純資産額は3,593円です。

\*第52期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,160,274,461円です。

■損益の状況

第47期 自 2018年10月23日 至 2018年11月20日 第49期 自 2018年12月21日 至 2019年 1月21日 第51期 自 2019年 2月21日 至 2019年 3月20日  
 第48期 自 2018年11月21日 至 2018年12月20日 第50期 自 2019年 1月22日 至 2019年 2月20日 第52期 自 2019年 3月21日 至 2019年 4月22日

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(A) 配当等収益	23,392,156円	22,040,883円	21,403,638円	21,061,754円	20,666,695円	19,919,046円
受取配当金	23,393,525	22,042,233	21,405,106	21,063,338	20,667,929	19,921,350
受取利息	4	4	7	2	5	4
支払利息	△ 1,373	△ 1,354	△ 1,475	△ 1,586	△ 1,239	△ 2,308
(B) 有価証券売買損益	△ 235,342,916	△ 172,692,642	114,169,822	96,190,827	△ 5,283,407	△ 39,786,983
売買益	2,387,909	1,790,721	115,321,148	96,231,387	1,047,753	307,858
売買損	△ 237,730,825	△ 174,483,363	△ 1,151,326	△ 40,560	△ 6,331,160	△ 40,094,841
(C) 信託報酬等	△ 2,901,201	△ 2,773,983	△ 2,610,571	△ 2,567,558	△ 2,393,345	△ 2,802,722
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 214,851,961	△ 153,425,742	132,962,889	114,685,023	12,989,943	△ 22,670,659
(E) 前期繰越損益金	△ 3,165,914,466	△ 3,229,773,124	△ 3,336,260,421	△ 3,208,883,487	△ 3,063,790,111	△ 2,972,160,380
(F) 追加信託差損益金	△ 1,210,374,620	△ 1,164,233,540	△ 1,156,564,473	△ 1,165,041,888	△ 1,160,637,375	△ 1,136,223,558
(配当等相当額)	( 322,757,817)	( 307,448,299)	( 303,044,916)	( 303,137,619)	( 299,790,707)	( 291,478,462)
(売買損益相当額)	(△ 1,533,132,437)	(△ 1,471,681,839)	(△ 1,459,609,389)	(△ 1,468,179,507)	(△ 1,460,428,082)	(△ 1,427,702,020)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,591,141,047	△ 4,547,432,406	△ 4,359,862,005	△ 4,259,240,352	△ 4,211,437,543	△ 4,131,054,597
(H) 収益分配金	△ 51,510,431	△ 31,340,262	△ 30,751,886	△ 30,635,010	△ 30,167,378	△ 29,219,864
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,642,651,478	△ 4,578,772,668	△ 4,390,613,891	△ 4,289,875,362	△ 4,241,604,921	△ 4,160,274,461
追加信託差損益金	△ 1,210,374,620	△ 1,164,233,540	△ 1,156,564,473	△ 1,165,041,888	△ 1,160,637,375	△ 1,136,223,558
(配当等相当額)	( 322,757,817)	( 307,448,299)	( 303,044,916)	( 303,137,619)	( 299,790,707)	( 291,478,462)
(売買損益相当額)	(△ 1,533,132,437)	(△ 1,471,681,839)	(△ 1,459,609,389)	(△ 1,468,179,507)	(△ 1,460,428,082)	(△ 1,427,702,020)
分配準備積立金	363,011,403	329,520,394	312,205,607	299,741,736	281,992,255	259,929,862
繰越損益金	△ 3,795,288,261	△ 3,744,059,522	△ 3,546,255,025	△ 3,424,575,210	△ 3,362,959,801	△ 3,283,980,765

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,490,920円	19,266,863円	20,991,393円	20,600,583円	18,273,328円	17,116,284円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	322,757,817	307,448,299	303,044,916	303,137,619	299,790,707	291,478,462
(d) 分配準備積立金	394,030,914	341,593,793	321,966,100	309,776,163	293,886,305	272,033,442
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	737,279,651	668,308,955	646,002,409	633,514,365	611,950,340	580,628,188
(f) 分配金	51,510,431	31,340,262	30,751,886	30,635,010	30,167,378	29,219,864
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	685,769,220	636,968,693	615,250,523	602,879,355	581,782,962	551,408,324
(h) 受益権総口数	7,358,633,005口	6,964,502,860口	6,833,752,632口	6,807,780,207口	6,703,861,964口	6,493,303,154口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	70円	45円	45円	45円	45円	45円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

#### 〈お知らせ〉

##### ■信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託終了日を2019年10月18日から2024年10月18日に変更しました。

CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド  
ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除き全てのクラスを合算しております。

（注）2019年4月22日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表  
2018年3月31日現在

<b>資産</b>		
投資資産の評価額（簿価 \$78,662,149）	\$	73,192,861
現金		1,021
未収法人税等		6,043,386
その他資産		13,862
<b>資産合計</b>		<u>79,251,130</u>
<b>負債</b>		
売建てオプションの評価額（受取済プレミアム \$170,921）		112,350
外国為替先渡契約による評価損		132,273
スポット契約による評価損		18
未払：		
解約済み受益証券		84,626
専門家報酬		58,000
法人税		186,479
運用会社報酬		32,263
会計および管理会社報酬		20,082
保管会社報酬		12,058
為替運用会社報酬		2,606
名義書換代理人報酬		960
計算代理人報酬		1,024
<b>負債合計</b>		<u>642,739</u>
<b>純資産</b>	\$	<u>78,608,391</u>
<b>純資産の内訳：</b>		
払込資本金	\$	308,186,610
（受益者への分配金）		(97,268,763)
繰越損失		(132,309,456)
<b>純資産</b>	\$	<u>78,608,391</u>
<b>クラス別純資産：</b>		
通貨αクラス	\$	28,979,347
円ヘッジクラス		11,474,639
ノンヘッジクラス		38,154,405
	\$	<u>78,608,391</u>

## ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

<b>発行済み受益証券口数</b>		
通貨αクラス		94,799,062
円ヘッジクラス		27,151,832
ノンヘッジクラス		85,350,547
<b>受益証券1口当り純資産額</b>		
通貨αクラス	\$	0.306
円ヘッジクラス	\$	0.423
ノンヘッジクラス	\$	0.447

### 損益計算書

2018年3月31日に終了した年度

<b>投資収益</b>		
配当収益（源泉徴収税 \$24,865控除後）	\$	250,560
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 （元本払戻金（特別分配金））		6,674,488
		(6,674,488)
受取利息		95,099
<b>投資収益合計</b>		<u>345,659</u>
<b>費用</b>		
運用会社報酬		568,674
専門家報酬		194,000
会計および管理会社報酬		91,422
保管会社報酬		51,293
為替運用会社報酬		42,914
受託会社報酬		13,742
名義書換代理人報酬		12,625
登録料		9,755
計算代理人報酬		4,912
州法人税		1,567
<b>費用合計</b>		<u>990,904</u>
<b>税引前投資純損失</b>		(645,245)
当期法人税控除額		(186,479)
<b>税引後投資純損失</b>		<u>(831,724)</u>
<b>実現益（損）および評価益（損）：</b>		
<b>実現益（損）：</b>		
証券投資		(2,994,180)
外国為替取引および外国為替先渡契約		208,964
売建オプション		448,198
<b>純実現損</b>		<u>(2,337,018)</u>
<b>評価益（損）の純変動：</b>		
証券投資		(18,302,542)
外国為替換算および外国為替先渡契約		122,599
売建オプション		(131,651)
<b>評価益（損）の純変動</b>		<u>(18,311,594)</u>
<b>純実現損および純評価損</b>		<u>(20,648,612)</u>
<b>運用による純資産の純減</b>	\$	<u>(21,480,336)</u>

投資明細表  
2018年3月31日現在

出資口数	有価証券の明細	評価額
	<b>普通株 (5.9%)</b>	
	<b>集積・処理 (2.0%)</b>	
35,962	Targa Resources Corp.	\$ 1,582,328
		<u>1,582,328</u>
	<b>ジェネラル・パートナー (3.9%)</b>	
87,178	Antero Midstream GP LP	1,393,976
30,800	Cheniere Energy, Inc.	1,646,260
		<u>3,040,236</u>
	<b>普通株合計 (簿価 \$5,264,828)</b>	<b>\$ 4,622,564</b>
	<b>マスター・リミテッド・パートナーシップ (85.5%)</b>	
	<b>集積・処理 (24.2%)</b>	
89,983	Antero Midstream Partners LP	2,329,660
117,500	Crestwood Equity Partners LP	3,008,000
167,200	Enable Midstream Partners LP	2,293,984
91,987	Hess Midstream Partners LP	1,751,432
121,625	MPLX LP	4,018,490
53,300	Noble Midstream Partners LP	2,485,379
60,000	Summit Midstream Partners LP	843,000
53,556	Western Gas Partners LP	2,285,235
		<u>19,015,180</u>
	<b>ジェネラル・パートナー (1.4%)</b>	
33,600	Western Gas Equity Partners LP	1,112,832
		<u>1,112,832</u>
	<b>天然ガスパイプライン・貯蔵 (12.0%)</b>	
273,050	Boardwalk Pipeline Partners LP	2,771,458
80,000	Cheniere Energy Partners LP	2,328,000
75,700	Dominion Energy Midstream Partners LP	1,161,995
57,400	Spectra Energy Partners LP	1,930,936
32,916	Tallgrass Energy Partners LP	1,247,187
		<u>9,439,576</u>
	<b>原油・精製品のパイプライン・貯蔵 (25.9%)</b>	
126,626	Andeavor Logistics LP	5,674,111
93,390	Magellan Midstream Partners LP	5,449,307
18,595	Phillips 66 Partners LP	888,469
168,600	Plains All American Pipeline LP	3,714,258
107,900	Shell Midstream Partners LP	2,271,295
67,414	Valero Energy Partners LP	2,388,478
		<u>20,385,918</u>
	<b>パイプライン・貯蔵・処理 (22.0%)</b>	
318,727	Energy Transfer Partners LP	5,169,752
210,303	Enterprise Products Partners LP	5,148,217
202,298	Williams Partners LP	6,965,120
		<u>17,283,089</u>
	<b>マスター・リミテッド・パートナーシップ合計 (簿価 \$72,063,619)</b>	<b>\$ 67,236,595</b>
	<b>元本</b>	
	短期投資 (1.7%)	
	定期預金 (1.7%)	
USD 1,333,702	Citibank, New York 1.05%, due 2018/4/2	1,333,702
	<b>短期投資合計 (簿価 \$1,333,702)</b>	<b>\$ 1,333,702</b>
	<b>投資総額 (簿価 \$78,662,149) (93.1%)</b>	<b>\$ 73,192,861</b>
	<b>負債を超過する現金およびその他の資産 (6.9%)</b>	<b>5,415,530</b>
	<b>純資産 (100.0%)</b>	<b>\$ 78,608,391</b>

## ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

2018年3月31日現在の円ヘッジクラスの外国為替先渡契約残高

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益/（損）
J P Y	Brown Brothers Harriman	1, 218, 908, 114	2018/4/27	U S D	11, 611, 004	\$ -	\$ (132, 273)	\$ (132, 273)

2018年3月31日現在の通貨αクラスの売建オプション取引内容

取引内容	取引相手	行使価格	行使期日	想定元本	受取済 プレミアム	評価額
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Morgan Stanley Japan Ltd., Tokyo	¥ 107.20	2018/4/6	4, 000, 000	\$ (51, 238)	\$ (4, 338)
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Citibank N. A. Tokyo	106.60	2018/4/13	4, 000, 000	(47, 245)	(18, 976)
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Morgan Stanley Japan Ltd., Tokyo	106.26	2018/4/20	4, 000, 000	(40, 085)	(30, 089)
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Citibank N. A. Tokyo	104.50	2018/4/27	3, 000, 000	(32, 353)	(58, 947)
					\$ (170, 921)	\$ (112, 350)

### 通貨の略称

J P Y	-	日本円
U S D	-	米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第52期の決算日（2019年4月22日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を42ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2018年10月23日から2019年4月22日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 350,004		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年4月22日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（72,711,505千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2019年4月22日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,997	% <1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

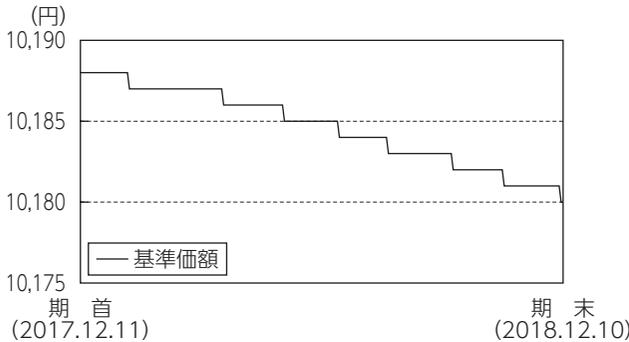
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年1月末	10,187	△0.0	-
2月末	10,187	△0.0	0.5
3月末	10,186	△0.0	-
4月末	10,186	△0.0	-
5月末	10,185	△0.0	-
6月末	10,184	△0.0	-
7月末	10,184	△0.0	-
8月末	10,183	△0.0	-
9月末	10,182	△0.1	-
10月末	10,181	△0.1	-
11月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ( )

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■主要な売買銘柄 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表 国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0
投資信託財産総額	80,270,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	80,270,040,211円
コール・ローン等	79,270,042,938
現先取引(その他有価証券)	999,997,273
(B) 負債	241,522,286
未払解約金	240,343,000
その他未払費用	1,179,286
(C) 純資産総額(A-B)	80,028,517,925
元本	78,610,288,449
次期繰越損益金	1,418,229,476
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口
1万口当り基準価額(C/D)	10,180円

\* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF E グローバル・バリュエ (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワF E グローバル・バリュエ (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I"\*

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド -ハジメの歩- 327,110,605円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドクラブ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株株式ファンド -パラダイムシフト- 9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、プル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワF E グローバル・バリュエ株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、D Cスマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。